

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社

代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。いつのまにか日中は汗ば

むような季節となりましたが、皆様お変わりありませんか。三度目の緊急事態宣言は発令され、窮屈な毎日を送らざるをえない日々、国家の危機を皆様と一緒に乗り越えなければなりません。寒暖の差が大きい季節柄、なおいっそうご自愛ください。

サンライズの物語

安心して暮らせる社会を—— 在宅介護について考える物語



その方は担当医からの一報で急遽訪問致しましたが、息子さんと二人暮らし、2~3日前までは、ご自身でトイレへも行けたらしいのですが、私が訪問した時は全く身動き取れずにベッドに横たわっていました。

息子さんもどうして良いのか分らずに戸惑っていたのが印象的でした。息子さん曰く、担当の包括にも相談に行ったとの事。急な状態の変化に対応が間に合わなかったらしいのです。

次の日より訪問介護、訪問診療と連携を図り対応していたのですが、そんな3日後の事・・・朝訪問した提供責任者より反応が悪いとの報告に緊急搬送致しましたが、昼過ぎ息を引き取ったのでした。

お悔みに訪問すると息子さんより「こんな事になるとは思ってもいなかった。直ぐによくなると思っていた」と泣いておられました。

これだけ在宅介護、医療、地域包括支援システムと叫ばれる中、一般の方々は、どこに相談に行き、どんなサービスが受けられるのかさえも知らない事に驚きました。

地域の人達が安心して暮らせる社会を作る難しさ・・・胸が一杯になりました。

カレンダー作り

季節のカレンダー作成は「母の日」のカーネーションがモチーフです。お花紙で花を作りリボンをつけて出来上がりです。



青和ばら公園

「青和ばら公園」にバラを見に行きました。何種類もの綺麗なバラが満開を迎えていました。天気にも恵まれ楽しい時間を過ごせました。



NEWS 今月のニュース

ニュースポーツ「ツウゲットボール」 介護予防兼ね普及へ

グラウンドゴルフをアレンジしたニュースポーツ「ツウゲットボール」について、兵庫県高砂市高砂町拠点の「高砂友花里（ゆうかり）グラウンドゴルフ同好会」が、介護予防を目指して普及に取り組んでいる。練習を重ね、このほど初の大会も開催。8ホールを回るグラウンドゴルフに比べ、コートが縦23メートル、横5メートルと狭いため移動が楽で、足腰が衰え始めた人でも楽しめるという。（笠原次郎）

高齢者大学「県いなみ野学園」（同県加古川市平岡町新在家）で2001年、場所を取らず、参加しやすい競技として考え出された。旗の付いたホールポストを目掛け、グラウンドゴルフのクラブで1人が2打放

つ。1打目で他の選手のボールに当たると1点。直径89センチの円に入ると、中心からの距離に応じて3～1点が入る。団体戦では、対戦チームのボールをはじき飛ばすなどの駆け引きも。

同好会には高砂市高砂町の40人が所属し、平均年齢は82歳。介護予防にも役立つことから、同学園で講習を受け、拠点とする高砂公園（同市西畑2）で昨年4月に練習を始めた。

メンバーが上達してきたため、今月18日には同公園で大会を初めて開いた。約30人が真剣な表情でショットを放ち、的の円に入ると笑みがこぼれた。足腰の衰えを感じるという男性（85）＝同市＝は「グラウンドゴルフに比べ、移動距離が短いので楽。介護のお世話にならずに

済むよう、努めて参加している」と話す。

高砂町老人クラブ連合会長で同好会長の植原隆義さん（83）＝同市＝は「介護予防の観点からも愛好者を増やし、将来は協会も設立したい」と意気込む。



<神戸新聞NEXT 2021年4月23日 >

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>